

## 新型コロナウイルス対応下の全国連合小学校長会活動について

令和2年5月26日

全国連合小学校長会

令和2年度の活動方針については、既に総会で承認いただいたところである。また、一般の新型コロナウイルス対応下にあっても、全連小の活動を止めることなく、組織の総力をあげて調査・研究活動の充実に努めるとともに積極的に施策提言を進めていかなければならない。

一方、会員一人一人の安心安全の確保や所属校の学校経営は最優先事項であることは言うまでもない。さらに、会議等のための会員の移動の難しさが予想され、新しい生活様式に基づく活動への移行も行っていかなければならない。そこで、下記の通り、先に示した活動方針に加えて「新型コロナウイルス対応下の全国連合小学校長会活動方針」を策定することとした。

本方針に基づき、今年度の会議等の延期や中止、従来とは異なる形での実施などが予想され、会員各位のご理解・ご協力をお願いしたい。

### 1 基本方針

新型コロナウイルスの対応は長期化が予想され、収束と再流行を繰り返していくものと思われる。学校にあつては、感染予防に配慮しながら運営していくとともに、感染拡大による臨時休業も想定していかなければならない。これからの学校は、従来通りの教育活動を進めていくことは難しく、新たな学校教育の在り方を確立していかなければならない。ここでは、我々校長の創造力とリーダーシップが求められ、本会の職能団体としての機能を存分に果たしていくことで、この大命題を解決していく。そのために、新たな活動方針として以下の5点を付加する。

### 2 新たな活動方針

#### (1) 会員の健康安全と学校経営を最優先に活動を継続する

感染予防を第一に考え、テレビ会議等のインターネットを積極的に活用していく。また、そのための研究及び環境整備を早急に進める。

#### (2) 積極的な情報発信と意見表明

状況が刻々と変わるこのような状況だからこそ、全国レベルでの情報収集と情報発信が必要である。また、様々な施策が行われる中、全国連合小学校長会として、関係機関等に強く意見を表明していく。

#### (3) 新型コロナウイルス対応自体を研究対象とする

昨年度までの研究の継続を大切にしつつも、新型コロナウイルス禍の課題と解決策の共有に向け、危機管理の視点で研究を推進する。

#### (4) 研究大会の在り方を検討する

全国大会、各地区大会の紙上発表化や中止決定に伴い、改めて各地区の研究活動を止めないことを大前提に、新たな研究の在り方や大会運営について検討していく。

#### (5) 各委員会動の調査内容を変更する

上記(1)～(4)を実現するため、各委員会にあつては従来の調査内容に加え、新型コロナウイルス対応についても調査研究を行う。